



二度と白衣を戦場の血で汚さない

日本医労連憲法平和対策委員会

2014年6月26日

かがやけ!

憲法ニュースNo.12

「集団的自衛権行使容認」文言一部修正(高村提案)で公明党執行部合意へ7月1日閣議決定の方向におき必死の与党

官邸前緊急行動、全国にいっせい行動を呼びかけます

「集団的自衛権行使容認」にむけ閣議決定がおこなわれるといわれている7月1日、12時15分から、首相官邸前で緊急行動を行います。また夕方には街頭宣伝を計画しています。この緊急事態にあたり、全国各地で街頭宣伝・シール投票、デモ・パレード、議員・議員事務所への働きかけ・ファックス行動など、いっせいに行動することを呼びかけます

6月27日(金) 9時30分~10時30分 官邸前(実行委員会、1000人委員会)

30日(月) 18時30分~19時30分 官邸前(実行委員会)

7月 1日(火) 9時30分~10時30分 官邸前(実行委員会、1000人委員会)

12時15分~12時45分 官邸前(憲法共同センター)

3日(木) 18時30分~19時30分 官邸前(実行委員会)

4日(金) 9時30分~10時30分 官邸前(実行委員会、1000人委員会)

情報

公明党議員の反応

解釈で憲法9条を壊すな!実行委員会に参加するメンバーで公明党議員へ野働きかけをしている人たちがいます。その結果が報告されていますので紹介します。

◆土壇場の議員要請の反応

昨日6月24日、当日のムチャな呼びかけにも関わらず、9人が参加して、公明党の全議員の事務所に要請行動を行いました。議員は不在の事務所がほとんどで、秘書に対する要請となりましたが、反応は様々でした。与党協議メンバーのところでは「多くのファックスが届いています」と聞かされました。

「思いは同じで、離党したいくらいです。ただ、民主党政権はひどかったもので、連立を離れるのはどうか」ともらす秘書がいる一方で、「集団的自衛権の問題は民主党政権の負の遺産だ。尖閣や竹島の問題にきちんと対応してこなかったからだ。むしろ、野党がしっかりすべきだ」と責任転嫁する秘書もいました。また、「頑張っているが一年生議員なので影響力が弱い」との声も。私たちの「少なくとも、7月5日の地方代表者会議を踏まえて判断すべきでは」との問いには、「日頃から地方組織と意見交換しており問題ない」との回答がほとんどでした。中には「マスコミが勝手に書いている。私たちは聞いていない」「あなた方と議論するつもりはない」などの冷たい対応も。

なお、25日の午前に行われる議員会合について、「何時からですか」と尋ねても、詳しい時間は教えてもらえませんでした。また、掲載されるかどうか分かりませんが、新聞記者からの取材もありました。

世論調査

「行使容認反対」「解釈変更反対」が圧倒的多数 「限定は容認拡大」と批判増大

内閣支持率が最低に

昨日から今日にかけて発表された世論調査では、「集団的自衛権行使容認反対」、「解釈で容認することに反対」が圧倒的多数となっています。

また朝日新聞の調査では、安倍内閣の支持率が43%（不支持率33%）となり、政権誕生以後最低を記録しました。昨年末の秘密保護法成立時点の支持率（46%）をも下回る結果です。

	賛成%	反対%	
集団的自衛権行使容認	43.8	48.2	(①日本世論調査会6/14、15実施)
	28	56	(②「朝日」6/21、22実施)
	29.6	55.4	(③共同通信6/21、22実施)

解釈変更で行使容認	32.2	58.4	(①)
	17	67	(②)
	29.6	57.7	(③)

集団的自衛権行使容認の議論は十分か (②)			
	十分%	不十分%	
	9	76	

集団的自衛権行使容認の自公の合意について (①)			
秋の臨時国会前までに結論を	14.3%		
秋にこだわらず議論を続ける	78.8		

集団的自衛権行使の容認の限定について (③)			
限定での容認で範囲は広がらない	28.0%		
行使容認の範囲は広がる	62.1%		

憲法改正と9条改正 (①)			
	必要%	不必要%	
憲法改正	55.9	38.1	(断定と「どちらかといえば」の合計)
憲法9条改正	35.1	59.9	

憲法守れ！いのちまもれ



密室協議、閣議決定許さない！！